



鹿児島県立甲南高等学校

# 進路指導室だより

平成 29 年度 第 1 号 (4 月 27 日発行)

## 4 C s を身につけよう。

始業式 (1 年生はオリエンテーション) の進路指導部の話の際に 4 C s の話をしました。4 C s は「フォーシーズ」と読みます (C が 4 つあるので, S D G s 同様, 最後に複数形の s がつきます)。

さて, この 4 つの「C」, 何を表すか覚えているでしょうか。答えは **Communication, Collaboration (Cooperation), Creativity, Critical Thinking** の 4 つです。特に順番は関係ありません。21 世紀型スキルとされる能力です。これらは, A I やロボットがさらに活躍するであろう未来において, 私たち人間が仕事を続けるために身につけるべき能力とされています。

これは言い換えれば, 「私たちは時代の変化に対応するために, 円滑なコミュニケーションを通して, 様々な可能性を考えつつもどれが良いか考えながら (批判的思考力), 協力して (協調性), 何か新しいことを成し遂げる (創造性)」ということになると思います。そしてそれはロボットや A I には難しいことだとされています。

本校の W - K I のテーマは「**人口問題に起因する諸問題の解決**」です。日本では人口がこれまで経験したことのない急激な速さで減少し, 世界では 90 億人という新しい世界を迎えます。いったいどのような問題が起きて, どのように我々は対処すべきなのか, 考えるべき時が来ています。

例をあげましょう。昨年度, 全国英語ディベート大会の論題は「日本はベーシックインカム (B I) を導入すべきか」というものでした。B I とは, 簡単に言えば, 日本国籍を持つ全ての国民に生存権を担保できる一定額のお金を毎月与える代わりに, ほぼすべての社会福祉制度を廃止するという考えです。実際にスイスでは成人全員に毎月 30 万円弱を与える制度を導入するかどうかで国民投票を行いました。結果は否決でしたが, この制度の導入を真剣に議論する国も出てきています。

さて, 日本では B I は導入すべきでしょうか。賛成側の中には「年金制度や生活保護制度に比べて, 効率的である」と考える人もいます。否定側の中には, 「お金を渡せば, 働かない人が出てくるので良くない」という意見もあります。しかし, 「A I ・ロボットが人間の代わりに単純作業をし始めれば, 失業者数が増える。そうなれば, 犯罪も増える。B I で全員に食費や住居費を与えなければ社会機能が落ちるため, B I を導入した方が社会全体としては良い」と考える人も出てきます。2060 年, つまりみなさんが 60 歳を迎える頃の日本は, 人口は 8800 万人程度と予測されています。そのため, 現在の社会福祉制度が破綻する可能性があります。いま我々はどうすべきか, この B I も選択肢の 1 つにすぎません。このように**予想される問題とその様々な解決策を考えだし, その解決策の効果を科学的に検討する力**が大事であり, それが 4 C s だと考えます。

今年度から九州内の多くの国公立大学がインターネット出願に変わります。インターネット出願に変われば, 受験生の負担だけでなく, 大学側の負担も減ります。しかし逆にみると, 人手がいらなくなるということです。クロネコヤマトは「ロボネコヤマト」という新たな自動配送サービスシステムの実験を始めました。

甲南高校では, グループ活動やペア活動でみなさんが主体的に考え, 様々なことができるように工夫して授業を行います。4 C s は「**主体的に学ぶ**」力に他なりません。みなさんが 1 日の多くの時間を過ごすこの甲南高校で, ぜひ主体的に積極的に学力と学習に取り組むスキルを身につけて下さい。授業に主体的に参加して, 自分の能力を上げていく。それは「**自らの宝**」になります。各教科の授業と「W - K I」の時間を活用して, 自らの能力をぜひ向上してほしいと強く思います。

## 【SGH通信】

本校が文部科学省よりスーパーグローバルスクール（SGH）に指定されて3年目になりました。SGHの目的とはなんでしょうか。全国のSGHのホームページには以下のように書かれています。

高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、もって、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的としています。

SGHの高等学校等は、目指すべきグローバル人物像を設定し、国際化を進める国内外の大学を中心に、企業、国際機関等と連携を図り、グローバルな社会課題、ビジネス課題をテーマに横断的・総合的な学習、探究的な学習を行います。

学習活動において、課題研究のテーマに関する国内外のフィールドワークを実施し、高校生自身の目で見聞を広げ、挑戦することが求められます。

本校では、リーダー像を「21世紀薩摩スチューデント」とし、前述したように「人口問題に起因する諸問題の解決」をテーマとして「総合的な学習の時間（W-K I）」に活動を行っています。

すでに卒業した先輩方の中には、この課題研究をさらに大学でも続けることを目指して、進路を決定した人々もいます。本年度の進路室だよりではSGH活動についても毎回紹介していきますので、楽しみにしててください。



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

## 【読書のすすめ】 今月のこれを読め！

### 『統計学が最強の学問である』 西内 啓 著

課題研究でも活用する統計。生徒のよくある質問に「何人くらいにアンケートすれば良いのですか？」というのがあります。答えはすべて統計学で出ています（W-K Iの教科書にも答えは載っています）。統計は奥が深いのですが、この本は統計学の楽しさを教えてくれます。GWに読んでみて欲しい本の1冊です。

### 『「学力」の経済学』 中室 牧子 著

昨今、ビッグデータ等が話題になっていますが、著者の中室さんは「教育経済学」者です。例えば、「しつけ」がしっかりした人はそうでない人と学力・年収に差が出るのでしょうか？ 様々な効果については、思い込みでなく、データが示すものに注目する必要があります。日本でも滋賀大学に初めてデータサイエンス学部ができました。統計学者が少ないといわれる日本。統計学の楽しさが分かる1冊となっています。

### ○進路関係4月、5月の予定

- ・3年学研模試  
4月29日（土）
- ・実力考査  
5月11日（木） 全学年  
5月12日（金） 2, 3年
- ・3年駿台模試（希望者）  
5月28日（日）

3年生は総体が終わればよいよ受験モード。「甲鶴戦→総体→受験」という勢いでぜひ頑張ってください！

